

コミュニティ美座だより No.87



宝塚市美座地域まちづくり協議会

☆美座小学校区にお住いの皆様へのコミュニティ情報です。 総務部広報発行 連絡先 0797-84-7120

台風や豪雨のとき、指定避難所は宝塚小か小浜小です

コミュニティ美座防災対策委員会報告

去る7月26日「県民交流広場・みざ」で防災対策委員会を行い、美座小学校区自治会をはじめとする地域活動団体、美座小学校長先生等と防災対策について話し合いました。

指定避難所については、以前から地域の皆さんにお伝えしているとおり、地震等の場合を除き、美座小は対象外となっています。台風や豪雨のときの指定避難所は宝塚小と小浜小です。

しかし実際には宝塚小と小浜小までの距離、坂道、河川の危険箇所を考えると、高齢者等の要援護者にとって、相当厳しい条件と言わざるを得ません。このため会議では、指定避難所に行ける人や家族等に搬送支援してもらえる人は良いとしても、それが困難な人のための対策についての問題に意見が集中しました。



ビルやマンションの共用部分を一時避難場所として提供してもらえば、、、

住んでいる場所によって、また高齢等によって指定避難所まで行くのが現実的に困難な人にとって、それ以外の避難方法を考える必要があります。マンション住まいの場合は2階か3階以上に避難すれば一般的には安全と思われませんが、戸建ての場合は2階が唯一の避難場所であり、経験のないような大水害を想像すると不安は拭えません。

このため特に戸建て住まいの場合は、地域の自治会等がコミュニティ美座等と連携して、ビルやマンションの代表者と話し合い、災害時の一時避難場所として共用部分の提供を依頼してはどうか、との意見が多く出ました。コミュニティ美座は、こうした防災対策としての地域連携に賛同し、今後積極的に進めることにしました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

コミュニティ美座 **防災スマホ教室**

スマホで防災情報を確実にキャッチしませんか！
スマホの使い方が良く分からない方もご遠慮なく！

と き 9月20日（金）
13:00～14:00
（15分休憩）
14:15～15:15

ところ 県民交流広場・みざ（美座会館敷地内）

◎先着順25名◎各自スマホを持参◎費用は無料



☆ドコモショップ宝塚店による教室です。他社のスマホ持参OK

「警戒レベル3」で高齢者等は避難です！



避難情報の伝え方が5段階に

国のガイドラインが改定され、避難情報の伝え方が変わりました。非難勧告等の情報を、より分かりやすくするため、情報の伝え方を5段階のレベルに分けられ、宝塚市では、今後これに基づいて情報発信が行われます。

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生する恐れがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難しますか？ 避難情報が状況に応じて避難すべきかどうかの判断がしやすいように発令されることになりました。1段階と2段階は気象庁が発令。3段階から5段階は市から発令され、テレビやラジオ、インターネットなどのほか、防災行政無線（屋外スピーカー）、広報車、安心メールなどで伝達されます。

①5段階警戒レベル表

		住民がとるべき行動	行動を促す情報	
低 ↑	1	防災気象情報等に注意し、災害への心構えを高める	警報級の可能性	気象庁発令
	2	避難経路、ハザードマップ、避難情報の確認など、避難に備え自らの避難行動を確認する	注意報	
警戒 レベル	3	避難に時間がかかる高齢者等の要配慮者は <u>立ち退き避難</u> しその他の住民は避難の準備をして自主避難する	避難準備・高齢者等避難開始	市町村発令
	4	災害が発生する恐れが高い状況で近隣の安全な場所への避難や建物内の垂直避難をする	避難勧告、避難指示	
	5	すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする	災害発生情報	
高 ↓				

②最大のポイントは「警戒レベル3」

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。警戒レベルが発表された段階で、住民はどのような行動をとればいいのでしょうか？

最大のポイントは「警戒レベル3」が発令されたら高齢者や障害者など、避難に時間のかかる人やその支援者は避難し、それ以外の人は避難の準備をすること。そして「警戒レベル4」が発令されたら、対象となる地域の住民は全員避難する、というのが基本です。

ただ、個別の事情や支援者の有無、周りの状況によって、立ち退き避難などをすることが、かえって危険を招く場合も十分考えられるので、その都度状況判断による安全確保が必要になると考えられます。

コミュニティ美座 ☆防災対策委員会の活動☆ とは

コミュニティ美座「防災対策委員会」は、災害時に美座小学校区内、地域住民の被害を防ぐため又は最小限に抑えるため、地域コミュニティを中心とした「自助、共助」の重要性を踏まえた地域防災対策を検討、推進することを目的としています。

地域の防災対策を推進するためには、地域全体で取り組むことが重要です。そのため校区内の自治会をはじめ、老人クラブ、PTAなどの地域活動団体、地域住民、民生児童委員、学校、園、介護施設関係事業所そして行政等関係機関が当委員会のメンバーとなり、互いに協議、連携、協働して対策に取り組んでいます。

当委員会はコミュニティ美座を拠点に防災に関わる学習、情報交換、意見交換、啓発活動、防災訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚、情報の共有を図ることにより、地域全体又は各地区の地域特性に応じた防災対策の推進に繋ぐため互いに連携して活動を進めます。

コミュニティ美座 各部の活動をご紹介します

事業部

子ども達から高齢者まで、地域住民同士の交流、繋がりを広げるため、次のような様々な催しを実施しています。主に高齢者を対象にした「美座会食会」、骨密度測定など健康増進のための「健康講座」、主に福祉をテーマにした「学習会」、福祉施設や防災関係施設などの「社会見学」のためのバスツアー、大学落研の「美座寄席」、年末の「年忘れ会」など

福祉部

地域の高齢者や障害のある人も一般の住民も、世代に関わりなくみんなが交流できる場や福祉に関する話し合い、相談の場を提供しています。具体的には次のような活動です。「茶話会」、「ふれあい喫茶・みざ」、「くらしのよろず相談」、「福祉体験講座」そして障害者理解や見守り等、特定の課題をテーマにした「ネットワーク会議」の開催など

子ども部

特にPTAとの連携を図り、地域での子ども達の遊び場や、居場所の提供、高齢者との交流も進め、心身共に健全成長を願って、次のような活動を行っています。美座小で放課後の遊び場を提供「みざっ子広場」、就学前を含む子ども達のための「出前児童館」、夏休み中の「宿題広場」、武庫川河川敷での「バードウォッチング」、「たこ揚げ大会」など

広報部

コミュニティ美座の様々な活動、催し物のご案内、地域のために大切な情報の提供を行います。

コミュニティと地域の人びととを繋ぐ、無くてはならない活動です。役員が手分けして広報誌の美座小校区、全戸配布を基本にしています。

○活動に興味がある方、ご意見等のご遠慮なくお寄せください。